



「TUNAG AX」開発責任者プロフィール 取材可能テーマのご案内

開発責任者 プロフィール



氏名: 林田 敦
役職: 株式会社スタメン Head Of AI Strategy (AI戦略責任者)
専門領域:
エンジニアリング×新規事業創出
アジャイル開発
現場産業(ノンデスクワーカー)のDX・AI導入
プロダクトマネジメント

【略歴】

2012年、株式会社野村総合研究所に入社。米国サンフランシスコにてリーンスタートアップおよびアジャイル開発の手法を修得。帰国後野村ホールディングスに出向し、イノベーション戦略子会社「N-Village」の創業メンバーとしてCTOに就任。プロダクトオーナーおよびプロジェクトマネージャーとして複数の新規事業立ち上げを牽引。

2022年よりTECHFUNDIに入社、VPoEおよびAccelerator Div.事業責任者として大手企業の新規事業創出やスタートアップ支援に従事。アイデアの事業性検証(PoC)からプロダクト開発、市場投入までを一気通貫で支援した実績を持つ。同年より、株式会社GO TODAY SHAIRESALONのCTOとしてIT戦略の立案から実行、アプリ開発、データ基盤構築、エンジニア組織の立ち上げをゼロから推進。

2026年3月、株式会社スタメンに入社。これまでの「エンジニアリング×新規事業創出」の知見を活かし、法人向けAIプラットフォーム「TUNAG AX」の開発責任者としてプロダクトを統括。

担当部署: 株式会社スタメン 広報担当 菊地夏美
連絡先TEL: 080-4804-9642
連絡先Mail: natsumi.kikuchi@stmn.co.jp
コーポレートサイト: <https://stmn.co.jp/>



対応可能な取材テーマ

林田は、大手企業の新規事業創出からスタートアップ支援、そして美容サロンなどノンデスクワーカーが中心の現場企業のCTOまで、立場を変えながらDX・AI導入の最前線に関わってまいりました。以下のテーマを中心に、具体的な事例を交えて分かりやすく解説・お話しすることが可能です。

■経歴・キャリア起点

- 大企業の新規事業が**PoC**で止まる理由
野村ホールディングス系イノベーション子会社でのCTO経験から見える、大企業の新規事業・AI導入が本番運用に乗らない構造的な要因
- 支援する側から実践する側への転身
TECHFUNDでのアクセラレーター事業を通じて多数の企業のAI導入を支援してきた立場から、なぜ自らAI格差解消の事業を手がけるに至ったか
- 現場産業のIT組織をゼロから作った経験
GO TODAY SHAIRE SALON(現場産業企業)のCTOとして、エンジニア組織を持たない企業がIT・AIに向き合う難しさを「支援者」ではなく「当事者」として経験した話

■業界構造・社会的意義起点

- 「AI格差は企業規模ではなく産業構造の問題」
NRI調査データ(生成AI利用許可率:情報・専門サービス業71.5% vs 卸売小売35.7%・製造45.4%等)を踏まえた、業種間で格差が生まれる構造的な要因の分析
- 「**PoC**はやったが本番に乗らない」現象の正体
多くの企業が直面するAI導入の踊り場の背景
- シャドーAIの実態とリスク
従業員が無断で外部AIツールに業務情報を入力してしまう現状と、企業が取るべき対策
- 労働人口減少時代における現場産業のAI活用の意義
マクロ経済・労働市場の観点から見たAI活用格差解消の重要性

■技術・アーキテクチャ起点

- 「ツール提供」ではなく「設計・実装の代行」を選んだ理由
AI BPaaS(Business Process as a Service)モデルを採用した開発思想
- データガバナンスをアーキテクチャレベルで担保する設計
AWS国内リージョン上にプライベートAI基盤を構築した技術的な背景
- **1,400社**以上の知見をどう汎用化したか
個別の業務改善ノウハウを標準テンプレート・プロンプト設計に落とし込むプロセス
- 個別受託開発と比較した際の速度・コスト優位性
マルチテナント型共通基盤がもたらす実装スピードの違い

■展望・ロードマップ起点

- 業種別ユースケーステンプレートの拡充計画
今後どの業種・業務領域へ展開していくか
- **TUNAG**の行動データを活用した分析機能の高度化
日報・サンクスカード・チャット等の行動データとAIを組み合わせた組織状態の予測・意思決定支援への展望
- 「AI×組織エンゲージメント」が描く中長期ビジョン
TUNAGとの掛け合わせで実現する、当社独自のポジショニング

担当部署：株式会社スタメン 広報担当 菊地夏美

連絡先TEL：080-4804-9642

連絡先Mail：natsumi.kikuchi@stmn.co.jp

コーポレートサイト：<https://stmn.co.jp/>